

社会福祉法人南陽園定款

第 1 章 総 則

(目 的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

第一種社会福祉事業

障害者支援施設の経営

第二種社会福祉事業

障害福祉サービス事業の経営

障害児通所支援事業の経営

一般相談支援事業の経営

特定相談支援事業の経営

障害児相談支援事業の経営

移動支援事業の経営

地域活動支援センターの経営

(名 称)

第2条 この法人は、社会福祉法人南陽園という。

(経営の原則)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を石川県加賀市潮津町ム69番地1に置く。

第 2 章 役員及び職員

(役員の数)

第5条 この法人には、次の役員を置く。

(1) 理 事 10人

(2) 監 事 2人

2. 理事のうち1名は、理事の互選により、理事長となる。

3. 理事長は、この法人を代表する。

4. 役員を選任に当たっては、各役員について、その親族その他特殊の関係がある者が、理事のうちに2名を超えて含まれてはならず、監事のうちにこれらの者が含まれてはならない。

(役員任期)

第6条 役員任期は2年とする。ただし、補欠の役員任期は、前任者の残

任期間とする。

2. 役員は再任されることができる。
3. 理事長の任期は、理事として在任する期間とする。

(役員を選任等)

第7条 理事は、評議員会において選任し、理事長が委嘱する。

2. 監事は、評議員会において選任する。
3. 監事は、この法人の理事、評議員、職員及びこれらに類する他の職務を兼任することができない。

(役員報酬等)

第8条 役員報酬等については、勤務実態に即して支給することとし、役員の地位にあることのみによっては、支給しない。

2. 役員には費用を弁償することができる。
3. 前2項に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

(理事会)

第9条 この法人の業務の決定は、理事をもって組織する理事会によって行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

2. 理事会は、理事長がこれを招集する。
3. 理事長は、理事総数の3分の1以上の理事又は監事から会議に付議すべき事項を示して理事会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から1週間以内にこれを招集しなければならない。
4. 理事会に議長を置き、議長はその都度選任する。
5. 理事会は、理事総数の3分の2以上の出席がなければ、その議事を開き、議決することができない。
6. 前項の場合において、あらかじめ書面をもって、欠席の理由及び理事会に付議される事項についての意思を表示した者は、出席者とみなす。
7. 理事会の議事は、法令に特別の定めがある場合及びこの定款に別段の定めがある場合を除き、理事総数の過半数で決定し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
8. 理事会の決議について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。
9. 議長及び理事会において選任した理事2名は、理事会の議事について議事の経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成し、これに署名又は記名押印しなければならない。

(理事長の職務の代理)

第10条 理事長に事故あるとき、又は欠けたときは、理事長があらかじめ指名する他の理事が、順次に理事長の職務を代理する。

2. 理事長個人と利益相反する行為となる事項及び双方代理となる事項については、理事会において選任する他の理事が理事長の職務を代理する。

(監事による監査)

第11条 監事は、理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況を監査しなければならない。

2. 監事は、毎年定期的に監査報告書を作成し、理事会、評議員会及び石川県知事に報告するものとする。
3. 監事は、前項に定めるほか、必要があると認めるときは、理事会及び評議員会に出席して意見を述べるものとする。

(職員)

第12条 この法人に、職員若干名を置く。

2. この法人の設置経営する施設の長（以下「施設長」という。）は、理事会の議決を経て、理事長が任免する。
3. 施設長以外の職員は、理事長が任免する。

第 3 章 評議員及び評議員会

(評議員会)

第13条 評議員会は、21名の評議員をもって組織する。

2. 評議員会は、理事長が招集する。
3. 理事長は、評議員総数の3分の1以上の評議員又は監事から会議に付議すべき事項を示して評議員会の招集を請求された場合には、その請求があった日から20日以内に、これを招集しなければならない。
4. 評議員会に議長を置く。
5. 議長は、その都度評議員の互選で定める。
6. 評議員会は、評議員総数の過半数の出席がなければ、その議事を開き、議決することができない。
7. 評議員会の議事は、評議員総数の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
8. 評議員会の決議について、特別の利害関係を有する評議員は、その議事の議決に加わることができない。
9. 議長及び評議員会において選任した評議員2名は、評議員会の議事について議事の経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成し、これに署名又は記名押印をしなければならない。
10. 評議員の報酬については、勤務実態に即して支給することとし、評議員の地位にあることのみによっては、支給しない。

(評議員会の権限)

第14条 評議員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 予算、決算、基本財産の処分、事業計画及び事業報告
- (2) 予算外の新たな義務の負担又は権利の放棄
- (3) 定款の変更
- (4) 合併
- (5) 解散（合併又は破産による解散を除く。以下この条において同じ。）

(6) 解散した場合における残余財産の帰属者の選定

(7) その他、この法人の業務に関する重要事項で、理事会において必要と認める事項

2. 理事会は、前項に掲げる事項を決定しようとするときは、原則として、あらかじめ評議員会の意見を聴かなければならない。

(同前)

第15条 評議員会は、この法人の業務若しくは財産の状況又は役員の仕事執行の状況について、役員に対して意見を述べ若しくはその諮問に答え又は役員から報告を徴することができる。

(評議員の資格等)

第16条 評議員は、社会福祉事業に関心を持ち、又は学識経験ある者で、この法人の趣旨に賛成して協力する者の中から理事会の同意を経て、理事長がこれを委嘱する。

2. 評議員の委嘱に当たっては、各評議員について、その親族その他特殊の関係がある者が3名を超えて含まれてはならない。

(評議員の任期)

第17条 評議員の任期は2年とする。ただし、補欠の評議員の任期は、前任者の残任期間とする。

2. 評議員は、再任されることができる。

第 4 章 資産及び会計

(資産の区分)

第18条 この法人の資産は、これを分けて基本財産と運用財産の2種とする。

2. 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

- | | |
|----------|-----------------|
| (1) 定期預金 | 壹百万円 |
| (2) 土地 | 石川県加賀市潮津町ム69番1 |
| 宅地 | 7348.59平方メートル |
| 土地 | 石川県加賀市潮津町ム79番13 |
| 宅地 | 260.21平方メートル |
| 土地 | 石川県加賀市潮津町ム18番 |
| 山林 | 294.00平方メートル |
| 土地 | 石川県小松市大領町口211番 |
| 宅地 | 211.57平方メートル |
| 土地 | 石川県小松市大領町口212番 |
| 宅地 | 99.17平方メートル |
| 土地 | 石川県小松市大領町口213番 |
| 宅地 | 396.69平方メートル |
| 土地 | 石川県小松市大領町口223番 |
| 宅地 | 221.48平方メートル |
| 土地 | 石川県小松市大領町口214番 |

雑種地	380.00平方メートル
土地	石川県小松市大領町口222番
雑種地	238.00平方メートル
土地	石川県小松市大領町口210番
雑種地	310.00平方メートル
土地	石川県小松市大領町口233番
宅地	247.95平方メートル
土地	石川県小松市大領町口234番1
宅地	156.00平方メートル
土地	石川県小松市大領町口235番
宅地	52.89平方メートル
土地	石川県小松市大領町口236番
宅地	158.67平方メートル
土地	石川県小松市大領町口249番1
宅地	175.68平方メートル
土地	石川県小松市大領町口253番
宅地	29.00平方メートル
土地	石川県小松市大領町口254番
宅地	29.00平方メートル
土地	石川県小松市大領町口208番1
宅地	234.71平方メートル
土地	石川県小松市大領町口208番2
宅地	231.40平方メートル
土地	石川県加賀市源平町90番1
宅地	340.99平方メートル
土地	石川県加賀市源平町90番2
宅地	495.56平方メートル
土地	石川県加賀市源平町84番1
宅地	1,082.25平方メートル
土地	石川県加賀市源平町84番2
宅地	570.73平方メートル
土地	石川県小松市大領町口237番3
宅地	145.34平方メートル
土地	石川県小松市大領町口237番2
宅地	141.92平方メートル
土地	石川県加賀市山田町ワ23番6
宅地	246.11平方メートル

(3) 建物

- ① 石川県加賀市潮津町△69番地1、59番地1、59番地3、69番地2 所在
 (家屋番号69番1)
 鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根・亜鉛メッキ鋼板・合金メッキ鋼板葺4階建
 障害者支援施設
 床面積 1階 3,118.80平方メートル
 2階 1,916.81平方メートル
 3階 2,065.10平方メートル
 4階 241.56平方メートル
 コンクリートブロック造陸屋根平家建 ポンプ室
 床面積 21.32平方メートル
 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 変電室
 床面積 61.06平方メートル
 コンクリートブロック造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 ボイラー室
 床面積 6.90平方メートル
 軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 ボイラー室
 床面積 64.68平方メートル
- ② 石川県加賀市潮津町△69番地1の2 所在 (家屋番号69番102)
 木造スレート葺2階建
 自立訓練棟(グループホーム)
 床面積 1階 86.54平方メートル
 2階 74.52平方メートル
- ③ 石川県加賀市潮津町△24番地 所在 (家屋番号24番)
 鉄骨造合金メッキ鋼板葺平家建 車庫
 床面積 26.40平方メートル
- ④ 石川県加賀市潮津町△59番地1、22番地2、62番地2、79番地13所在
 (家屋番号59番1)
 鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
 障害者支援施設
 床面積 1階 487.80平方メートル
 2階 939.50平方メートル
 3階 1,305.53平方メートル
 4階 680.42平方メートル
 5階 480.05平方メートル
- ⑤ 石川県小松市大領町口223番地、211番地、212番地、213番地、214番地、222番地所在
 (家屋番号223番)
 鉄骨・木造亜鉛メッキ鋼板・スレート葺2階建
 店舗・居宅
 床面積 1階 595.13平方メートル

- 2階 353.93平方メートル
- ⑥ 石川県小松市大領町口234番地1、236番地、249番地1、253番地所在
(家屋番号234番1)
木造瓦葺2階建
居宅
床面積 1階 172.14平方メートル
2階 57.43平方メートル
- ⑦ 石川県加賀市源平町87番地、84番地
(家屋番号87番)
木造合金メッキ鋼板葺平家建
障害福祉サービス事業所
床面積 185.02平方メートル
- ⑧ 石川県加賀市柴山町も21番地1
(家屋番号21番1)
鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき3階建
サービスセンター
床面積 1階 148.66平方メートル
2階 501.24平方メートル
3階 95.90平方メートル
- ⑨ 石川県小松市正蓮寺町セイ谷10番地5
(家屋番号10番5)
鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき平家建
障害者支援施設
床面積 563.76平方メートル
石川県小松市正蓮寺町セイ谷7番地3、10番地5
(家屋番号7番3)
鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建
障害者支援施設
床面積 1階 1,166.56平方メートル
2階 878.90平方メートル
石川県小松市正蓮寺町セイ谷10番地5、石川県小松市五国寺町7番地3
(家屋番号10番5の2)
鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建
障害者支援施設
床面積 1階 254.08平方メートル
2階 254.08平方メートル
- ⑩ 石川県小松市大領町口236番地、235番地、254番地
(家屋番号236番)

木造合金メッキ鋼板葺2階建
 養護所
 床面積 1階 75.35平方メートル
 2階 72.87平方メートル

- ⑪ 石川県加賀市源平町84番地
 (家屋番号84番)
 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
 旅館居宅
 床面積 1階 329.04平方メートル
 2階 283.20平方メートル
- ⑫ 石川県小松市大領町口237番地3、石川県小松市大領町口237番地2
 (家屋番号237番3)
 木造瓦葺2階建
 共同住宅
 床面積 1階 119.73平方メートル
 2階 119.73平方メートル
- ⑬ 石川県加賀市源平町90番地1
 (家屋番号90番1)
 木造合金メッキ鋼板葺2階建
 養護所
 床面積 1階 112.62平方メートル
 2階 66.24平方メートル
- ⑭ 石川県加賀市山田町ワ23番地6
 (家屋番号23番6)
 木造瓦葺2階建
 居宅
 床面積 1階 94.40平方メートル
 2階 56.31平方メートル

3. 運用財産は、基本財産以外の財産とする。
4. 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第19条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意を得て、石川県知事の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、石川県知事の承認は必要としない。

- (1)独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合。
- (2)独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）

に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合
(協調融資に係る担保に限る。)

(資産の管理)

第20条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

2. 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(特別会計)

第21条 この法人は、特別会計を設けることができる。

(予 算)

第22条 この法人の予算は、毎会計年度開始前に、理事長において編成し、理事総数の3分の2以上の同意を得なければならない。

(決 算)

第23条 この法人の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、毎会計年度終了後2月以内に理事長において作成し、監事の監査を経てから、理事会の認定を得なければならない。

2. 前項の認定を受けた書類及びこれに関する監事の意見を記載した書面については、各事務所に備え置くとともに、この法人が提供する福祉サービスの利用を希望する者その他利害関係人から請求があった場合には、正当な理由がある場合を除いて、これを閲覧に供しなければならない。
3. 会計の決算上繰越金を生じたときは、次会計年度に繰り越すものとする。ただし、必要な場合には、その全部又は一部を基本財産に編入することができる。

(会計年度)

第24条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第25条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第26条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意がなければならない。

第 5 章 解散及び合併

(解 散)

第27条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第28条 解散(合併又は破産による解散を除く。)した場合における残余財産

は、理事総数の3分の2以上の同意によって社会福祉法人のうちから選出されたものに帰属する。

(合 併)

第29条 合併しようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意を得て、石川県知事の認可を受けなければならない。

第 6 章 定款の変更

(定款の変更)

第30条 この定款を変更しようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意を得て、石川県知事の認可(社会福祉法第43条第1項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。)を受けなければならない。

2. 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を石川県知事に届け出なければならない。

第 7 章 公告の方法その他

(公告の方法)

第31条 この法人の公告は、社会福祉法人南陽園の掲示場に掲示するとともに、官報又は新聞に掲載して行う。

(施行細則)

第32条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理 事 長	表	二 雄
理 事	矢 田 松	太 郎
理 事	古 田	福 松
理 事	松 木	幸 蔵
理 事	守 岡	享 亨
理 事	北 村	俊 雄
理 事	竹 内	三 郎
理 事	寺 前	英 一
理 事	飯 貝	宗 謙
監 事	中 曾 根	治 郎
監 事	西	要 一

附 則

昭和52年 3月18日一部変更、昭和53年 4月10日認可。

附 則
昭和55年 2月28日一部変更、昭和55年 3月10日届出。
附 則
昭和57年 4月 6日一部変更、昭和57年 7月14日認可。
附 則
昭和61年 7月28日一部変更、昭和62年 3月27日認可。
附 則
昭和63年 1月28日一部変更、昭和63年 2月 1日届出。
附 則
昭和63年 6月 7日一部変更、平成元年 1月13日認可。
附 則
平成 5年 1月26日一部変更、平成 5年 4月 1日認可。
附 則
平成 7年 7月25日一部変更、平成 8年 1月26日認可。
附 則
平成10年12月 9日一部変更、平成11年 3月 1日認可。
附 則
平成11年 9月28日一部変更、平成12年 3月 3日認可。
附 則
平成12年 3月22日一部変更、平成14年 5月 9日認可。
附 則
平成14年 3月22日一部変更、平成14年 5月24日認可。
附 則
平成15年12月19日一部変更、平成16年 3月 3日認可。
附 則
平成16年 5月25日一部変更、平成16年 7月30日認可。
附 則
平成16年12月9日一部変更、平成17年 4月28日認可。
附 則
平成17年12月 9日一部変更、平成18年 1月 4日認可。
附 則
平成18年 3月 9日一部変更、平成18年 3月28日認可。
附 則
平成18年 8月24日一部変更、平成18年 9月11日認可。
附 則
平成18年12月13日一部変更、平成19年 2月 9日認可。
附 則
平成20年 3月27日一部変更、平成20年 5月28日認可。
附 則
平成21年 3月 1日一部変更、平成21年 3月31日認可。

附 則
平成22年3月2日で選任された評議員の任期は、定款第17条の規定にかかわらず、平成22年3月31日までとする。

附 則
平成22年 5月28日一部変更、平成22年 6月25日認可。

附 則
平成22年12月 4日一部変更、平成23年 1月20日認可。

附 則
平成23年 8月 4日一部変更、平成24年 2月 1日認可。

附 則
平成23年12月10日一部変更、平成24年 2月 1日認可。

附 則
平成24年 3月22日一部変更、平成24年 4月23日認可。

附 則
平成24年11月 7日一部変更、平成24年 12月 4日届出。

附 則
平成25年 6月13日一部変更、平成25年 7月12日届出。

附 則
平成26年 9月30日一部変更、平成26年11月26日認可。

附 則
平成27年 3月26日一部変更、平成27年 7月27日認可。